

新

聞

2020年(令和2年)3月7日 土曜日

# 生活環境の改善要望

## 水陸機動団が4項目

### 佐世保市議会一般質問

定例佐世保市議会は6日、一般質問を続行し、4人が登壇。佐世保市の陸上自衛隊相浦駐屯地(大潟町)に本部を置く水陸機動団が、朝長則男市長に対し、商業・娯楽施設の整備など隊員や家族の生活環境の改善を求める要望をしていたことが明らかになった。

田山藤丸議員(自民市民会議)の質問に東隆一郎基地政策局長が答えた。機動団は2018年3月に創設。市基地政策局によると、相浦駐屯地内と崎辺分屯地、近隣の官舎には、隊員と家族合わせて約1800人が居住しているという。要望書は昨年12月18日付。商業・娯楽施設の整備や公共交通機関の改善など4項目を求めている。

顕前市長が商業利用を認めなかった経緯がある。吉田敏之農林水産部長は「牧草用農地としての利用をベースとする」と従来の方針をあらためて示した。その上で、新たな担い手の確保について「将来の地域農業のビジョンを相浦土地改良区の農業者と作成する必要がある」と説明した。(古瀬小百合)

### 運動・文化活動指導者招く

#### 対馬市創生戦略 島内3高校へ派遣

対馬市は2020年度から6年間の地方版総合戦略となる「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略案」をまとめた。急速に進む人口減少を、島内高校への進学率向上をはかることで抑制しようとして、スポーツや文化活動の指導者を市が招

聘した上で島内3高校に派遣する新規事業を盛り込んでいる。第2期案は19日までにパブリックコメントを募った上で、今月末までに策定する。

田山議員は、佐世保市相浦地区に残る広大な農地の

第2期案は15年度から5カ年、むたつて対馬の人口減少抑制と地方創生の基本

【佐世保市議会 令和2年3月定例会一般質問 3月6日 田山藤丸】

- 1 若者の定住促進について
  - 定住人口増減率の分析
  - 学生の地元企業とのマッチング
  - 公園遊具、屋内遊び場の在り方
- 2 次期都市計画マスタープランについて
  - 水陸機動団を取り巻く環境整備
  - 相浦土地改良区の現状と今後の可能性
- 3 自治体シンクタンクの役割と大学連携について
  - 政策推進センターの設立意義と今日までの成果
  - 大学との連携の在り方